

晴明丘寺子屋教室 活動報告

晴明丘寺子屋教室・設立主旨

1) ESD 実践の場へ！

晴明丘寺子屋教室は、子どもたちが学校や団体の枠組みを超え、世代を超えたつながりをつくる中で、郷土に誇りを持ってたくましく羽ばたけることができる社会の一員として育つことの一助を担うことを目的としています。

ESD（持続可能な発展のための教育）は、環境・エネルギー教育の側面にとらえられがちですが、地域、社会のさまざまな事に関心を向け、それを自ら課題として考え、身近なところから行動する（think globally, act locally）2050年の大人を育成する取り組みです。

「自分たちの住んでいる町の素晴らしさや平和・人権の大切さ、人とのつながりを知ってもらおう！」また「持続可能な社会の社会を作っていける価値観や行動力を持った人材を育成しよう！」という地域・保護者・学校の願いがあり、2013年秋に平和や国際的な連携を実践する学校として晴明丘小学校はユネスコ・スクールに認定されましたが、学校だけの学びにとどめず、子どもたちの学びを豊かにするために、ユネスコ協会、ユネスコ・スクール、NPOなどと連携をとり、ESD実践の場としてとりくみます。

2) 伝統と文化を重んじる子どもたちをめざして

地元や大阪の古代の地形を顧みながら、大阪の歴史が縄文時代に遡り、自分たちの住む上町台地から堺には日本で一番古くに開け、栄えた土地であったことを学校教育だけでは知りえないところを体験と学習で紐解き、地元へ愛着を持ち、子どもたちがさらなる飛躍をとげることのできる「生きる力」育むことをめざします。

主催者：晴明丘寺子屋教室実行委員会

大阪市青少年指導員連絡協議会・晴明丘青少年指導員

後援：エリーニ・ユネスコ協会、NPO 法人大阪ユネスコ協会

協力：NPO 法人木育フォーラム・帝塚山支部

主な開催場所

晴明丘会館（大阪市阿倍野区北畠 1-18-4 晴明丘中央公園内）

寺西家阿倍野町家ほか

実施報告

第1回

月日 8月30.31日

晴明丘会館



自分で楽器をつくってみよう！

秋祭りのポスターを描こう！

工作＝カホン、レインスティックと 江戸かるたづくり

民族楽器のルーツ（カホン＝ペルー原産の楽器、スペイン語で箱という意味など。）

作ったカホンで秋祭りに出演（10月23日）



「平和コンサート」（12月11日南北 코리아 と日本のともだち展大阪展

大阪国際交流センター）に出演



第2回

9月30日（日）

晴明丘会館



テーマ：食べ物のもとをたどろう 自分で作ってみようお弁当

勝間南瓜生産者農家訪問と勝間南瓜のなにわ伝統野菜のお弁当づくり

勝間村（現在の玉出）の野菜であること 南米原産の食材が食卓にあること

いのちのはじまりは植物から （参考：私のまちのたからものMAP）

第3回

10月30日（日）

晴明丘会館



さくらの木のおはしづくり 環境と食卓・MY おはしをつくってみよう

お箸の文化講座

お箸の材料＝さくら・・・日本の木と間伐材について

日本・韓国・中国のお箸文化の違いについて

第4回

11月13日（日）

作って遊ぼう、作ったおもちゃで遊ぼう、昔のあそびをやってみよう！

協力：晴寿会 （ぶんぶんごま、かざぐるまなど）

前回のお箸づくり オリオン座とペテルギウスのはなし、

光の600光年とはなど星の成り立ちとスーパームーンについて



第5回

12月25日(日) クリスマス会 参加:子ども 24名、大人 12名(35名)

4Kテレビによる映画鑑賞 「ポーラエクスプレス」、ランチタイム

時間の使い方について

日本の歴史のなにわ伝統野菜「吹田くわい」を味わい、大阪の地形、縄文時代から続く、上町台地の歴史的意義について



第6回

2017年1月29日(日)

清明丘会館

メッセージを伝えよう

メッセージボードをつくる

挨拶の語源について



第7回

2月12日(日)

清明丘会館

伝統技法木組み によるなべ敷き

黒板づくり



第8回

3月19日

阿倍野区民センター3F 阿倍野図書館多目的室

片葉葦群生地=天下茶屋湿地見学 葦のおはなし



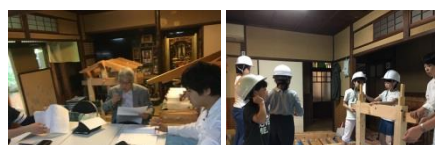
第9回

4月30日

寺西家阿倍野町家

世界遺産って何?のおはなしと伝統技法体験

(5月7日 撤収)



第 10 回

5 月 21 日

寺西家阿倍野町家

百人一首 今後の寺子屋教室を考える

中間テスト勉強



第 11 回

6 月 4 日 (日)

晴明丘小学校

ペルー料理 世界の世界の楽器体験